

10/31(土) まいど！倫理号です、10月もいよいよ最後です。朝晩肌寒いです。この寒暖差

により紅葉が増しです。所々

奇蹟は執念によって起こるのしょう。

幸七郎の栞

今週の

倫理

10月のテーマ | 決意と決断

2020.10.31~11.6

1201号

令和二年二月二日、日本最東端に正倫理
法人会の活動拠点が生み出されました。

北海道釧路市倫理法人会です。厳冬期は
マイナス二十度に達し、一番近い倫理法人
会の活動拠点の帯広市までは百キロを超え、
札幌市内までは車で4時間以上かかる距離
に位置しています。

釧路市倫理法人会の初代会長に就任した
のは、地元で設計事務所を経営している橋川
昌弘氏でした。一見おっとりした雰囲気
の会長ですが、内に秘めた心の強さがあり、
掲げた目標に向かって坦々と突き進むその
姿勢は、多くの仲間から信頼と支援を得る
ことに繋がりました。

毎週二時間以上かけて帯広市から応援が
入り、さらには宿泊を伴って、札幌市内か
ら支援の手が差し向けられました。

多くの倫理の心を突き動かした、橋川氏
の行動力と心の強さはどこからくるのかを
探ってみると出生にまで遡るようです。

出産予定日を一カ月前に控えた昭和五十
年七月、母親に悪性の腫瘍が発見されまし
た。医師からは、一刻も早く手術をしなければ、
母子ともに命の保証はないと告げら
れます。すぐに摘出手術と出産が同時に行
なわれました。そして、医師の懸命な努力
の結果、無事に手術は成功したのです。た
だし産まれてきた子供は超未熟児で、身体
的な障害を伴うことになったのです。

体重は千六百グラムで、心臓に障害を抱
え、視力は殆んどない状態でした……小学
生になると、サッカーに興味を覚えるように



奇蹟は起きるのでは なく、起こすもの

なりました。当時通学していた小学校ではサ
ッカーが盛んで、友達とプレイするのが楽し
みでした。しかし、篤いレンズの眼鏡をか
けても、足元のボールがよく見え、走れ
ばすぐに息が切れて、百メートルも走るこ
とができませんでした。

友達からは、からかわれ悔しい思いを募
らせる日々の中で、普通の生活がしたい。
必ずいつか、みんなとサッカーができるよ
うになる」と、強く心に決めたのでした。

その後、命をかけて生んでくれたお母さ
んに悲しい思いをさせたくない一心で、独
自の眼筋トレーニングを行なったのです。

運動会の時でした。眼鏡をはずして臨ん
だ競技で、周りがよく見えたのです。眼鏡
をかけている時よりも遠くが見え、喜びが
全身を貫きました。これを機に視力は奇跡
的に回復していききました。相乗効果的に体
力もついていったのです。

現在、橋川氏の視力は裸眼で2.0。ホ
ノルマラソンを悠々と完走できる体力の
持ち主です。この幼少体験から氏は、「何事
も心に決めさえすれば、どんなに苦しいこ
とでも、必ず乗り越えられる時がきます。
一度始めたことをやり続けければ、道は拓け
ることを実感しています」と語ります。

『万人幸福の栞』第三条には以下のように
書かれています。

運命を切り開くは己である。境遇をつ
くるも亦(また)自分である。己が一切
である。努力がすべてである。
やれば出来る。